学校番号	314

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「NEXT　数学Ⅲ」　（数研出版）						
副教材等	「CONNECT 数学Ⅲ+C」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・ 自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・ 問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
・定期的に振り返りシートを記入します。学んだことをまとめられるようになりましょう。

２　学習の到達目標

１関数や極限、極限、微分法や積分法について，概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能の習熟を目指す。
２関数や極限、極限、微分法や積分法について，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付けることを目指す。
３関数や極限、極限、微分法や積分法について，事象を数学的に考察したり多面的に捉える能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばすことを目指す。
４横断的・総合的な学習や問題演習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする	数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を 振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 関数	分数関数 無理関数 逆関数と合成関数	a: 分数関数や無理関数などの定義域や漸近線などについて理解することができる。 b: 方程式の実数解とグラフの共有点の関係を正しく理解し，それを分数関数に適用して共有点の座標を求めることができる。 c: 方程式や不等式の考察に，積極的に関数のグラフを活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

	第2章 極限	第1節 数列の極限 数列の極限 無限等比数列 無限級数 第2節 関数の極限 関数の極限 三角関数と極限 関数の連続性	a: 数列の極限について理解し，数列{rn }の極限などを基に簡単な数列の極限を求めることができる。 b: 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして，極限を求める方法を考察することができる。 c:事象を極限の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
2学期	第3章 微分法	第1節 導関数 微分係数と導関数 導関数の計算 第2節 いろいろな関数の導関数 いろいろな関数の導関数 第 n 次導関数 曲線の方程式と導関数	a: 微分可能性，関数の積及び商の導関数について理解し，関数の和，差，積及び商の導関数を求めることができる。 b: 関数の連続性と微分可能性，関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察することができる。 c: 事象を微分法の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

	第4章 微分法の応用	第1節 導関数の応用 接線の方程式 平均値の定理 関数の値の変化 関数のグラフ 第2節 いろいろな応用 方程式、不等式への応用 速度と加速度 近似式	a: ・導関数を用いて，いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり，いろいろな関数の値の増減，極大・極小，グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすることができる。 b: 関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し，事象を数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 c: 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
3学期	第5章 積分法とその応用	第1節 不定積分 不定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 いろいろな関数の不定積分 第2節 定積分 定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 定積分のいろいろな問題 第3節 積分法の応用 面積 体積 道のり 曲線の長さ	a: 置換積分法及び部分積分法について理解し，簡単な場合について，それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 b: 極限や定積分の考えを基に，立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。 c: 事象を積分法の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度